

【】鎌倉幕府の成立と執権政治

【】鎌倉幕府の成立

[源平の争乱]

[問題]

壇ノ浦の戦いが行われた場所を、次の地図中のア～エから1つ選べ。



(茨城県)

[解答欄]

[解答]エ

[解説]

1180年、平氏追討^{へいしつうたう}の命令を受けて、伊豆^{いず}に流罪^{りゅうざい}になっていた源頼朝^{みなもとのよりとち}をはじめ、各地の武士団が立ち上がり、全国的な争乱になっていった。源頼朝は鎌倉^{かまくら}(神奈川県)にいて、弟の源義経^{みなもとのよしつね}らを派遣した。義経は一ノ谷^{いちのたに}の戦い、屋島^{やしま}の戦いで平家を破り、

1185年、壇ノ浦^{だんのうら}(山口県)の戦いで平氏を滅亡させた。

(平家の人々は御(1185)難の壇ノ浦)

[源平の争乱]

1180年 源頼朝の挙兵

鎌倉を本拠地にする

1185年 壇ノ浦の戦い

源義経が平氏を滅ぼす



[問題]

壇ノ浦で平氏を滅亡させた源氏の武将は誰か、次から選べ。

[源義家 源義経 源義朝 源義仲]

(三重県)

[解答欄]

[解答]源義経

[問題]

次の文章中の ， にあてはまる人物名を答えよ。

右図は()と伝えられる人物の肖像である。()は平氏を滅ぼした後、対立していた自分の弟である()をかくまったという理由で奥州藤原氏を攻めた。



(福島県改)

[解答欄]

--	--

[解答] 源頼朝 源義経

[守護・地頭の設置]

[問題]

源義経は平氏滅亡後、源頼朝と対立し、その後、頼朝から追跡を受けることになった。その際、頼朝が義経を捕らえることを口実に、国ごとと、荘園や公領ごとに置くことを朝廷に認めさせた役職は何か。その名称をそれぞれ書け。

(奈良県)

[解答欄]

--	--

[解答] 守護 地頭

[解説]

源頼朝の巨大化を恐れた後白河上皇は、頼朝と義経が不仲になったことにつけこみ、義経の願いを受けて頼朝追討を命じた。これに対して頼朝は軍を京都に送って後白河上皇にせまり、義経を

[鎌倉幕府の始まり]
1185年 守護・地頭 → 鎌倉幕府
1192年 源頼朝が征夷大將軍

とらえることを名目に、国ごとに守護を、荘園や公領ごとに地頭を任命する権利を獲得し、鎌倉を本拠地にして幕府を開いた。これ以降、1333年に滅亡するまでの約150年間を鎌倉時代という。守護はその国の御家人を統率し重い犯罪の取りしまりにあたった。地頭は年貢の取りたてなどの荘園や公領の管理にあたった。義経は平泉を根拠地にしていた奥州の藤原氏をたよって逃れた。頼朝は義経をかくまったことを理由に、奥州の藤原氏を攻めほろぼし、これまで独立性の強かった東北地方も支配下においた。



1192年、源頼朝は朝廷より征夷大將軍せいいたいしやうぐんに任じられた。(いゝ国(1192)めざす)。

かつては、1192年に源頼朝が征夷大將軍に任命されたことをもって鎌倉幕府の成立としていたが、現在では、守護・地頭の任命権かくとくを獲得した1185年を鎌倉幕府成立の時期とする説が有力になっている。

[問題]

下の資料の(A)にあてはまる語を書け。また、Aの仕事内容を、資料を参考にして簡潔に書け。

(資料)

「反乱が起こるたびに、鎌倉から軍勢を派遣するのは、時間や資金のむだですから、あらかじめ(A)と地頭を設置しておけばいいと考えます。」頼朝は大変感心してこの意見を採用することにした。

(群馬県)

[解答欄]

--	--

[解答] 守護 反乱を防止したり鎮圧したりすること。

[問題]

次の[]のうち、御成敗式目で「謀反や殺人などの犯罪人を取りしめること」が職務の一つに定められているものはどれか、1つ選べ。

[管領 国司 防人 守護]

(石川県)

[解答欄]

--

[解答]守護

[問題]

武士の中には、幕府の將軍からの御恩として、莊園や公領の年貢徴収と土地の管理などを行う職に任命される者もいた。この職を何というか。

(徳島県)

[解答欄]

--

[解答]地頭

[鎌倉幕府の成立]

[問題]

鎌倉幕府を開いて初めて武家政治を行った人物は誰か。

(青森県)

[解答欄]

[解答]源頼朝

[解説]

かつての通説によると、鎌倉幕府は、1192年に源頼朝が征夷大將軍に任命されて始まったとされていたが、頼朝の権力・統治機構はそれ以前から存続しており、現在ではこの説は支持されていない。1185年に守護・地頭の任免権を後白河法皇に承認させ、これにより頼朝政権は、全国の軍事権・警察権を掌握した。この時期をもって幕府成立とする説が有力とされている。鎌倉幕府は1333年に鎌倉の北条氏が新田義貞らの軍に滅ぼされて幕を閉じた。この間の約150年間を鎌倉時代とよぶ。

[問題]

1192年、源頼朝は朝廷より()に任じられた。

(補充問題)

[解答欄]

[解答]征夷大將軍

[問題]

鎌倉幕府が続いたのは、何世紀から何世紀までかを書け。

(岡山県)

[解答欄]

[解答]12世紀から14世紀

[問題]

源頼朝が幕府を置いた鎌倉の位置を右の略地図の a～d から選べ。

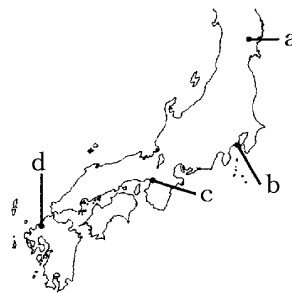
(北海道)

[解答欄]

[解答]b

[解説]

源頼朝は、1180年に挙兵した後、^{きよへい}鎌倉(神奈川県)を^{こんきよち}根拠地にして指揮をとった。鎌倉は東・北・西の三方を山で囲まれ、南は^{さがみわん}相模湾に面した天然の^{ようがい}要害である。東・北・西のいずれから鎌倉に入るとしても「鎌倉七口」と呼ばれる、山を切り開いた狭い通路(^{きりどお}切通し)を通らねばならなかった。このように、鎌倉は山と海に囲まれているので守りやすい土地であった。頼朝がここを^{きよてん}拠点としたのは、父祖ゆかりの土地であったこととともに、こうした地理的条件による部分が大きかったと思われる。



[鎌倉を根拠地にした理由]
山と海に囲まれているので
守りやすかったから

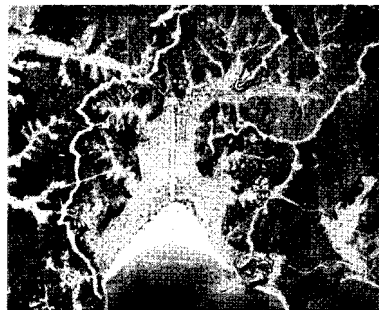
[問題]

源頼朝は、鎌倉を本拠地に定めたが、その理由を右の資料を参考にして、簡潔に書け。

(群馬県)

[解答欄]

[解答]山と海に囲まれているので守りやすかったから。



鎌倉幕府がおかれたところ(復元模型)

[鎌倉幕府のしくみ]

[問題]

次の各問いに答えよ。

- (1) 鎌倉幕府の中央に置かれた役職で、御家人をまとめ軍事をあつかったのは何か。
- (2) 問注所とはどのような仕事を担当する役職か。漢字2字で答えよ。

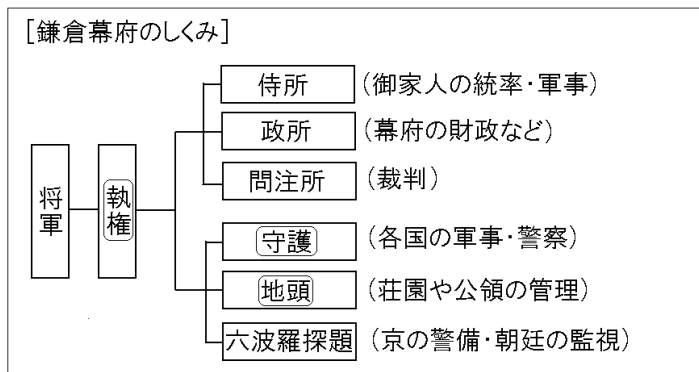
(補充問題)

[解答欄]

(1)	(2)
-----	-----

[解答](1) 侍所 (2) 裁判

[解説]



鎌倉幕府の組織は、御家人をまとめ軍事をあつかう侍所^{さむらいどころ}，一般政務や財政をあつかう政所^{まんどころ}，裁判を行う問注所^{もんちゅうじょ}からなっていた。また，国ごとに守護^{しゅご}を，荘園や公領ごとに地頭^{じとう}を置いた。

執権^{しっけん}は将軍を助けて政治をおこなう最高職であるが，これが設けられたのは源頼朝の死後である。また，六波羅探題^{ろくはらたんだい}は，1221年に起こった承久^{じょうきゅう}の乱の後に，朝廷を監視するために設置された。

【】御恩と奉公・武士の生活

[御恩と奉公]

[問題]

右図は鎌倉幕府を支えていた主従関係を表したものである。X, Y
にあてはまる語を、それぞれ書け。

(秋田県)

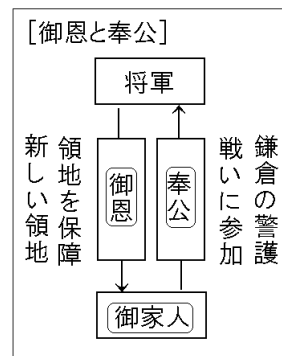
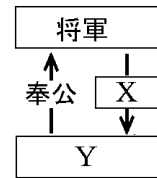
[解答欄]

X	Y
---	---

[解答]X 御恩 Y 御家人

[解説]

御恩の中で一番重要なのは、家来となった武士(御家人)の土地支配を保障したことであった。源頼朝は御家人に対し、おもに地頭に任命することによって、先祖伝来の領地の支配を保証した。国司や近隣諸勢力との争いに絶えず悩まされていた武士にとって、「一所懸命」という言葉がしばしば用いられたほど大切だった領地の支配権を認めってもらうことは、何物にもかえがたい御恩であった。このような御恩に対し、御家人は、平時には、京都や鎌倉の警護にあたる義務を負い、戦時には、命をかけて鎌倉殿(源頼朝)のために戦った。これが、奉公である。さらに、鎌倉殿のために、命をかけて戦って ながらをたてたときには、没収した敵の領地を恩賞として与えられたが、これも御恩の1つである。



[問題]

御家人は、ふだん京都や鎌倉の警備をし、戦時には一族をひきつれて戦うなどの義務を負っていたが、この義務を何というか。漢字2字で書け。

(佐賀県)

[解答欄]

[解答]奉公

[問題]

將軍と主従関係を結んだ武士は何とよばれたか。

(山形県)

[解答欄]

[解答]御家人

[問題]

鎌倉時代の「御恩と奉公」について、「御恩」とは誰が誰に対して行うことか。次の
， に適語を入れよ。

()が()に対して、土地や官職を与えること。

(福井県)

[解答欄]

--	--

[解答] 将軍 御家人

[問題]

鎌倉時代の将軍と御家人の関係を記した下の文の()内に適する内容を、「領地」という語句を用いて簡潔に書け。

将軍が御家人に対して()ことなどにこたえて、御家人が戦さのときに一族を率いて戦うことなどで成り立つ主従関係。

(長崎県)

[解答欄]

[解答]領地を保護し、新たに領地を与えたりする

[問題]

鎌倉幕府において、御家人たちは、将軍からの「御恩」に対して、「奉公」にはげんだ。御家人たちは、「奉公」としてどのようなことを行ったか、具体的に1つ書け。

(山形県)

[解答欄]

[解答]戦いがあったとき、生命をかけて軍役の義務を果たすこと。

[武士の生活]

[問題]

武士は、日ごろから馬や弓矢の武芸にはげみ、心身をきたえていた。また、戦いのときは、一族の長である(管領 / 組頭 / 郡司 / 惣領)を中心にして、一族がまとまって行動した。文中の()より適語を選べ。

(三重県)

[解答欄]

[解答]惣領

[解説]

武士は莊園や公領に堀と塀をめぐらせた館を構えて生活し、土地の開発を進め、下人や農民を使って農業を営んでいた。

武士は常に馬や弓矢の武芸によって心身をきたえた。「弓馬の道」、「武士(もののふ)の道」と呼ばれる、名を

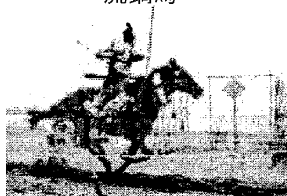
重んじ、恥を知る態度などの武士らしい心構えが育っていった。武芸の訓練方法としては、例えば、馬の上からの的にした笠を射る笠懸、馬の上から連続した3つの的を射る流鏑馬、走る馬の上から犬を射る犬追物などがある。

[武士の生活]

- ・弓馬の道
- ・笠懸、流鏑馬、犬追物
- ・堀と塀をめぐらせた館
- ・惣領、分割相続



笠懸



流鏑馬



犬追物

武士の家は、一族の長である惣領が中心となって子や兄弟などをまとめ、団結していた。領地は分割相続で、女子にもあたえられたので、女性の地頭も多くいた。

[問題]

次の文章中の ~ に適語を入れよ。

()や公領に館を構えた武士は、つねに馬や弓矢の武芸によって心身をきたえていた。「()」や「武士(もののふ)の道」などと呼ばれる、名誉を重んじ、恥をきらう態度や武士らしい心構えが育っていった。武士の家は、一族の長である()が中心となって子や兄弟などをまとめ、団結していた。領地は()相続で、女子にもあたえられたので、女性の地頭も多くいた。

(補充問題)

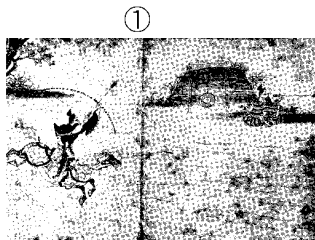
[解答欄]

--	--	--	--

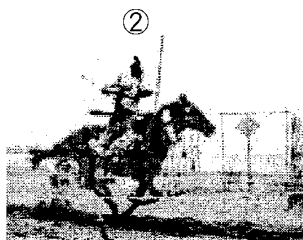
[解答] 莊園 弓馬の道 惣領 分割

[問題]

下の絵は、日ごろ御家人が行っていた武芸の訓練である。それぞれ何と呼ばれていたか。下の[]から選べ。



馬の上からの的にした笠を射る



馬の上から連続した3つの的を射る

[犬追物 笠懸 流鎗馬]

(補充問題)

[解答欄]

--	--

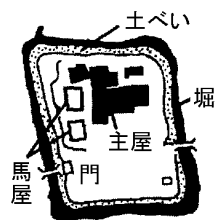
[解答] 笠懸 流鎗馬

[問題]

右の資料は、鎌倉時代の武士の館を示した図である。
この図を参考にして、武士の館の特徴を、「防備」の語句を用いて簡潔に書け。

(奈良県)

[解答欄]



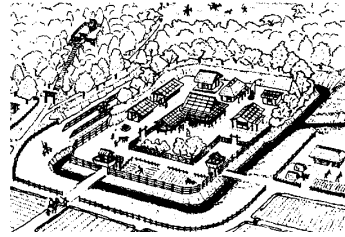
[解答] 土べいや堀を周囲にめぐらせて防備しやすいつくりになっていた。

[解説]

鎌倉時代の武士は、それぞれの領地に館やかたを構えて住み、下人や農民を使って農業を営んで生活していた。屋敷は板ぶきの簡素なもので、外敵の侵入に備えるために、土べいや堀を周囲にめぐらせていた。

[問題]

右の図は、鎌倉時代の東国の武士の館を復元したものである。鎌倉時代の武士は、江戸時代の武士とは大きく異なった生活を営んでいた。江戸時代の武士が城下町に住み、支配身分として幕府や藩の政治を行い、俸禄を受け取って生活していたのに対して、鎌倉時代の武士は、どのような場所に住み、どのようにして生活を営んでいたか。「鎌倉時代の武士は、」という書きだしに続けて簡単に書け。



(香川県)

[解答欄]

[解答]鎌倉時代の武士は、それぞれの領地に館を構えて住み、下人や農民を使って農業を営んで生活していた。

【】 執権政治

[執権政治]

[問題]

鎌倉時代、将軍の補佐役である(老中/管領/摂政/執権)の地位についた北条氏は、次第に幕府の実権を握り政治を動かすようになっていった。文中の()内より適語を選べ。

(栃木県)

[解答欄]

[解答] 執権

[解説]

1199年に源頼朝みなもとのよりとちが死んだ後、第2代将軍の源頼家よりいえと御家人ごけにんや、御家人どうしの争いが起こり、やがて幕府の実権は有力な御家人をまとめた北条時政ほうじょうときまさ(頼朝の妻北条政子ほうじょうまさこの父)がにぎった。以後、北条氏は将軍の力ちからを弱めて執権しっけんの地位を独占して幕府の実権をにぎった。これを執権政治という。

[執権政治]

源頼朝の死後、実権は北条氏
→ 執権の地位を独占

[承久の乱]

[問題]

京都で院政を行っていた後鳥羽上皇は、朝廷の勢力の回復をはかって挙兵したが、幕府の大軍に敗れた。このできごとを何というか。次から選べ。

[承久の乱 保元の乱 応仁の乱 壬申の乱]

(鹿児島県)

[解答欄]

[解答] 承久の乱

[解説]

武士の勢力が全国各地でのびていくにつれて、朝廷ちやうていや貴族きそくの反感は強まった。ことに貴族の経済的基礎である荘園しょうえんが地頭じとうによっておかされつつあったことは、危機感をいっそう増大させた。

[承久の乱]

1221年 後鳥羽上皇
↓
北条政子の説得

源頼朝みなもとのよりとちの死後、幕府の実権は北条氏に移り、有力な御家人ごけにんの争いが続いた。第3代

將軍の源実朝が殺害される事件が起きると、幕府の動揺を好機とみた後鳥羽上皇は、1221年に、第2代執権の北条義時追討の命令を出し、幕府を倒そうと兵をあげた。これが承久の乱である。(人に二色(1221)承久の乱)(北条義時は初代執権北条時政の次男で、北条政子の弟である。)

この時代を「鎌倉時代」といっているが、実質的には朝廷と幕府の二大勢力が共存しており、天皇・上皇の朝廷の精神的な権威はいぜんとして大きかった。この知らせを聞いた御家人たちは、朝廷方と戦えば「朝敵」となるのではないかと動揺した。

このような御家人を前に、源頼朝の末亡人である北条政子が、「みなの方、よく聞きなさい。これが最後の言葉です。頼朝公が朝廷の敵(平氏)をたおし、幕府を開いてこのかた、官職といい、土地といい、その恩は山より高く、海よりも深いものでした。…名誉を大事にする者は、京都(朝廷)に向かって出陣し、逆臣をうち取り幕府を守りなさい。」

政子は次のようにも言っている。「侍は、昔は3年のあいだ京都の守りにつくことを一生の大事と思い、一族、郎党まで晴れやかに出陣したが、3年の京生活に力つき、国に下るときははだしでやっと帰ってきた。それを頼朝殿があわれに思われて、3年を半年に縮めてくださったので、皆よろこんだものだ。この御恩を忘れて、このたび京方へつくか、將軍に奉公するか、今はっきり言い切ってみなさい。」これで流れは変わった。御家人たちは、以前の悲惨な境遇を思い出し、団結して朝廷に刃向かうことを決心したのである。

[問題]

下の史料は、源頼朝の妻であった北条政子が、ある争乱の際に御家人にうったえた内容の要約である。このうったえがおこなわれたのは、何という争乱がおきたときか。その争乱の名称を書け。

(史料)

みなの方、よく聞きなさい。これが最後の言葉です。頼朝公が朝廷の敵をたおし、幕府を開いてこのかた、あなたたちが受けた御恩は山よりも高く、海よりも深いものでした。それに報いたいという志は浅くないはずです。名誉を大事にする者は、京都に向かって出陣し、逆臣を討ち取り、幕府を守りなさい。

(長崎県)

[解答欄]

[解答]承久の乱

[問題]

次の資料は承久の乱のとき、北条政子が鎌倉の武士たちに、資料中の X の人物の御恩を説き、結束をうったえたものである。資料中の X の人物は誰か。その人物名を書け。

みなもの者、よく聞きなさい。これが最後の言葉です。(X)が朝廷の敵をたおし、幕府を開いてこのかた、官職といい、土地といい、その恩は山より高く、海より深いものでした。みんながそれに報いたいという志はきっと浅くないはずです。名誉を大事にする者は、京都に向かって出陣し、逆臣を討ち取り、幕府を守りなさい。(「吾妻鏡」より)
(香川県)

[解答欄]

[解答]源頼朝

[問題]

次の資料は承久の乱のときの北条政子の訴えである。資料の「みなもの者」とは何とよばれる武士か。

みなもの者、心をひとつにしてよく聞きなさい。頼朝公が幕府を開いてから、その恩は山より高く海より深いものでした。この恩に報いる心が浅くてよいのか。敵をうち、幕府を守りなさい。(部分要約)

(群馬県)

[解答欄]

[解答]御家人

[問題]

源頼朝の妻で、頼朝の死後、幕府の実権を握り、尼將軍とよばれたのは誰か。

(栃木県)

[解答欄]

[解答]北条政子

[問題]

執権政治がはじまったころの混乱を好機ととらえ、1221年に朝廷の権力の回復をめざして挙兵した上皇の名前を書け。

(茨城県)

[解答欄]

[解答]後鳥羽上皇

[承久の乱の結果]

[問題]

承久の乱の後、鎌倉幕府が朝廷を監視し、西日本の御家人を統制するために設置した機関を何というか、次の中から1つ選べ。

[京都所司代 大宰府 六波羅探題 問注所]

(和歌山県)

[解答欄]

[解答]六波羅探題

[解説]

幕府は大軍を率いて上皇方^{じょうこうがた}を破り、後鳥羽上皇は隠岐(島根県)に流された。乱後、幕府は、朝廷を監視するために、京都に六波羅探題^{ろくはらたんだい}という役所を置いた。



[承久の乱の後] 後鳥羽上皇→隠岐
六波羅探題：朝廷の監視 幕府の支配→全国に

また、上皇方についた貴族や西日本の武士の領地を取り上げ、地頭に東国の御家人を任命した。これによって、幕府の支配力は全国的に広がっていちだんと強まった。

[問題]

文中の()に適切な言葉を書き入れて文を完成させよ。ただし、()には、「六波羅探題」「監視」の2つの言葉を含めること。

後鳥羽上皇は、鎌倉幕府の混乱を見て挙兵したが、幕府にやぶれた。このできごとを承久の乱という。承久の乱をきっかけに、鎌倉幕府は、()。

(愛媛県)

[解答欄]

[解答]六波羅探題を設置して朝廷を監視した

[問題]

承久の乱の後、幕府の支配力はどのように変化したか、簡潔に書け。

(群馬県)

[解答欄]

[解答]幕府の支配力は西国にまで及ぶようになった。

[問題]

承久の乱について、正しく説明したものを次のア～エの中から1つ選び、記号を書け。

ア 後鳥羽上皇は、政治の実権を取りもどすために挙兵したが失敗した。その後、幕府が六波羅探題を設置し、朝廷に対する統制が強化された。

イ 2度にわたる元軍の襲来で幕府は苦戦したが、いずれも暴風雨によって、元軍は撤退した。その後、武士の生活は苦しくなった。

ウ 後醍醐天皇自らが政治を行い、武家から政治の実権を奪おうとしたが失敗し、京都から吉野にのがれた。その後、2つの朝廷が対立した。

エ 次期将軍をめぐる争いに、幕府の守護大名である細川氏と山名氏の勢力争いがからんで、戦いが始まった。その後、約11年間、京都を中心に戦乱が続いた。

(佐賀県)

[解答欄]

[解答]ア

[解説]

アが1221年におこった承久の乱^{じょうきゅうらん}。イは1274年と1281年の元寇^{げんこう}(鎌倉時代)。ウは建武の新政^{けんむしんせい}～南北朝の内乱。エは1467年におこった応仁の乱^{おうにん}(室町時代)。

[問題]

承久の乱の結果を説明する文として最も適切なものを，ア～エから 1 つ選び，符号で書け。

ア 将軍は政権を朝廷に返し，700 年近く続いた武士の世の中が終わった。

イ 京都と吉野に 2 つの朝廷が生まれ，動乱は約 60 年間も続いた。

ウ 幕府の勢いは朝廷をしのぐとともに，西国にまで広がった。

エ 幕府はわずかな地方を支配するだけとなり，下剋上の風潮が広がった。

(岐阜県)

[解答欄]

[解答]ウ

[解説]

アは幕末の大政奉還^{たいせいほうかん}。イは南北朝^{なんぼくちよう}の争乱。エは応仁^{おうにん}の乱の後のこと。

[問題]

源頼朝が開いた幕府について説明した次の文の下線部ア～エの中に，1 か所誤りがあります。誤りをア～エから選び，正しいことばを書け。

源頼朝は，ア鎌倉に幕府を開き，武士による新しい政治を始めた。頼朝は，家来となることを誓った武士をイ御家人にして，彼らの先祖伝来の領地を保護し，てがらに応じて新しい領地を与えた。しかし，頼朝の死後，幕府では主導権争いがおこり，源氏の将軍は三代で絶えた。この間に，ウ管領の地位についた北条氏は，やがて，その地位を独占するようになり，幕府の実権をにぎった。また，朝廷の勢力の回復をねらっていた後鳥羽上皇は，源氏の将軍が絶えたことを幕府をたおす好機と考え，挙兵した。これに対し幕府は，東国の武士の大部分を味方につけ，上皇側を破り，京都にエ六波羅探題を置いて，朝廷の監視を強めた。

(北海道)

[解答欄]

[解答]ウ，執権

[地頭の荘園侵略]

[問題]

承久の乱をへて、武家政治はようやく安定した。同時に、公領や荘園ごとにおかれた(X)の力も強まっていき、農民は領主と(X)から二重の負担を強いられる場合も多かった。

(宮城県)

[解答欄]

[解答]地頭

[解説]

地頭は荘園の管理者として農民から年貢を徴収して荘園領主に送り、その一部を収入として得ていた。しかし、13世紀になると、地頭の力が大きくなり、取り立てた年貢を横取りしたり、土地や農民を勝手に支配したりすることが多くなっていった。地頭と荘園領主の間には、争いがしばしばおこり、その争いは幕府の法廷で裁かれ、土地の半分が地頭に与えることで妥協がなされたり(下地中分)、地頭が年貢を定額で請け負っておさめるようになっていたりして、土地に対する地頭の権利は、しだいに強くなっていった。こうした地頭の荘園侵略は、承久の乱後、激しくなっていた。承久の乱によって、畿内・西国地方にも多くの地頭が任命され、東国出身の武士が各地にあらたに所領をもつようになったから、現地の支配権をめぐる、紛争はますます拡大した。承久の乱の10年ほど後の1232年に御成敗式目が制定されたが、これはひとつには荘園領主と地頭との土地争いを公平に裁く基準を明らかにするためであった。

[問題]

鎌倉時代には、農民は二重の支配に苦しむこともあった。下の資料は、この時代に紀伊国(和歌山県)の農民が荘園領主にあてた訴状の一部である。資料の(X)にあてはまる、年貢の取り立てや治安の維持にあたった、鎌倉幕府により任命された御家人の役職名は何か。その名称を書け。

(資料)

御材木のこと、やれ(X)の京のぼり、やれ近くへ出かけるといっては、人夫としてせめ使われますので、ひまもございません。わずかに残っておりました人夫を、材木の山出しに出向かせましたところ「逃亡百姓のあとの麦をまけ」と追い返されました。(後略)

(奈良県)

[解答欄]

[解答]地頭

[問題]

右の資料は、土地を地頭と領家(荘園領主)とに分けたことを示す絵図である。この説明として適切なものを、次のア～エの中から1つ選び、その記号を書け。



ア 地頭が登場した奈良時代のもので、当時の土地の支配のようすを知ることができる。

イ 地頭が登場した平安時代のもので、当時の土地の支配のようすを知ることができる。

ウ 地頭が力を強めてきた鎌倉時代のもので、地頭が荘園領主と同等の力を持って土地を支配しているようすを知ることができる。

エ 地頭が地方の行政官として派遣された戦国時代のもので、荘園領主と協力し合って土地を支配しているようすを知ることができる。

(青森県)

[解答欄]

[解答]ウ

[御成敗式目]

[問題]

裁判などを公平に行う基準として、1232年に幕府が制定した法律を何というか。その名称を書け。

(新潟県)

[解答欄]

[解答]御成敗式目

[解説]

この当時の法律としては、朝廷の律令などがあったが、ほとんど空文化していた。武家社会においては、武士がそれまで育てきた慣習や道徳を重んじ、紛争を処理する規範としてきた。しかし、当時道理と呼ばれた慣習や道徳は、地域によって異なったり、相互に矛盾したりする場合もあった。また、承久の乱の後、地頭の勢力が強くなり

[御成敗式目]

1232年

北条泰時が制定

荘園への支配権を拡大していったため、荘園領主との間で争いがさらに激しくなったが、このような場合、慣習や道徳だけで裁くことが困難であった。このような状況に対処し、公平な裁判制度を確立する目的もあって、1232年、執権の北条泰時は、裁判の基準として御成敗式目(貞永式目)をつくった。(御成敗式目、一文(ひとふみ)に(1232))

御成敗式目の中で注目すべきは、「武士が20年の間、実際に土地を支配しているならば、その権利を認める」ことを定めた条文で、これによって、武士の土地所有権が法的にも保証された。

[問題]

(X)は執権として幕府政治の基礎を固めた。(X)が制定した御成敗式目は、長らく武家政治の手本となった。Xにあてはまる人物名を書け。

(山形県)

[解答欄]

[解答]北条泰時

[問題]

御成敗式目を制定した北条泰時は、何という地位についていたか。その職名を書け。

(滋賀県)

[解答欄]

[解答]執権

[問題]

次の資料は、鎌倉時代に定められた御成敗式目について書かれた手紙の一部の要約である。(1)、(2)の問いに答えよ。

「ところでこの御成敗式目は何を根拠として制定したものかと、京都の公家たちが非難するかもしれない。そのとおりこれといった中国の書籍によったわけではなく、ただ武家社会の道理を書き記したものである。こうした規定を前もって制定しておかないと、幕府の裁判において事実の真理によらず、原告と被告の力のちがいによって判決がなされたり、以前の判決の例を無視して裁判がおこされたりすることがある。」

(1) 御成敗式目を定めた執権はだれか、人物名を書け。

(2) 御成敗式目は、どんなことを定めた法律か。資料を参考にして書け。

(熊本県)

[解答欄]

(1)	(2)
-----	-----

[解答](1) 北条泰時 (2) 公平な裁判を行うための基準

[問題]

次の法律が制定された時期を，次のア～エから 1 つ選んで記号で書け。

- 一 諸国の守護の職務は，頼朝公の時代に定められたように，京都の御所の警護と，謀反や殺人などの犯罪人の取りしまりに限る。
- 一 武士が 20 年の間，実際に土地を支配しているならば，その権利を認める。

平氏滅亡 - ア - 承久の乱 - イ - 元寇 - ウ - 永仁の徳政令 - エ - 建武の新政

(福井県)

[解答欄]

[解答]イ

[解説]

この法律はごせいばいしきもく御成敗式目である。御成敗式目制定の理由の 1 つが，承久の乱後に急増した地頭と荘園領主の間の争いを公平に裁くための法律を制定することになったことが分かっていたらば，承久の乱→御成敗式目の順になると気づくはずである。

[問題]

次のア～ウを年代の古い順に並べよ。

ア 御成敗式目が制定される。

イ 承久の乱がおこる。

ウ 六波羅探題がおかれる。

(徳島県)

[解答欄]

[解答]イ→ウ→ア

[問題]

御成敗式目(貞永式目)について述べた文として正しいものを、次のア～エの中から 1 つ選び、その記号を書け。

- ア 幕府が大名の統制を強化するため、幕府の許可なく城を修理したり無断で婚姻を結んだりすることを禁止することなどを定めた。
- イ 幕府が裁判の基準などを将軍の配下の武士に示すため、それまで武士の社会で行われてきた慣習にもとづいて制定した。
- ウ 朝廷が全国を支配するしくみを整えるため、刑罰のきまりや政治を行う上でのきまりを中国の法律にならって制定した。
- エ 有力な大名が領国内の武士の行動を取りしめるため、けんかをした者については理由にかかわらずに処罰することなどを定めた。

(埼玉県)

[解答欄]

[解答]イ

[解説]

アは江戸時代の武家諸法度。ウは奈良時代の大宝律令など。エは戦国時代に各戦国大名が制定した分国法。

【】鎌倉時代の文化・産業

【】文化と宗教

[東大寺南大門・金剛力士像]

[問題]

右は、東大寺南大門の両脇に置かれている2体の彫刻で、
運慶が作ったものである。この彫刻の名称を書け。

(青森県)

[解答欄]

[解答]金剛力士像

[解説]

鎌倉時代には、武士がはなばなしく活躍し、民衆も力をつけ、貴族を中心にした伝統文化のうえに、武士や民衆の、親しみがあり、力強い感じを与える文化が発達した。

この時代の代表的な彫刻は金剛力士像で、運慶

らの作である。写実的で力強いのが特徴である。金剛力士像が置かれている東大寺南大門(現在の奈良市にある)は鎌倉時代に再建された。現在の7階建ての建物ほどの高さがある大建築で、中国の影響を受けている。



[鎌倉時代の文化]

貴族を中心にした伝統文化のうえに、
武士や民衆の、親しみがあ
り、
力強い感じを与える文化

東大寺南大門の金剛力士像(運慶)



金剛力士像



東大寺南大門

[問題]

東大寺南大門の両わきには、巨大な仏像が安置されている。この仏像の作者名を1人書け。

(福井県)

[解答欄]

[解答]運慶

[問題]

右の資料は、鎌倉時代の代表的な彫刻である。
この彫刻にみられるような鎌倉文化の特徴を、
「武士」の語句を用いて簡潔に書け。

(奈良県)

[解答欄]

[解答]武士の気風に合った、力強い文化



(東大寺南大門の金剛力士像)

[問題]

鎌倉時代に、平氏によって焼かれたある寺院が再建された。この寺院の南大門には、
金剛力士像がおさめられている。この寺院の名前を書け。

(秋田県)

[解答欄]

[解答]東大寺

[文学]

[問題]

鎌倉時代、武士と民衆の力がのびてくるとともに、素朴で力強い感じをあたえる文化
が生まれてきた。文学では、軍記物の(平家物語 / 源氏物語 / 古事記 / 南総里見八犬伝)
が、琵琶法師によって武士や民衆のあいだに語り伝えられた。文中の()内より適語
を選べ。

(滋賀県)

[解答欄]

[解答]平家物語

[解説]

「ぎおん しょうじや 祇園精舎の鐘の聲、しよぎょう むじょう ひびき 諸行無常の響きあり。…」で始まるのは平家物語である。平氏のはんえい 繁栄から没落までをえがいた平家物語は、びわ 琵琶法師によって広められた。

すいひつ 随筆としては、けんこうほうし 兼好法師のつれづれくさ 徒然草(「つれづれなるままに、日ぐらしすずり 硯にむかいて…」)。

[文学]

平家物語 (琵琶法師)

新古今和歌集

徒然草(兼好法師)、方丈記(鴨長明)

かものちようめい ほうしやうき
鴨長明の方丈記(「ゆく河の流れは絶えずして、しかももとの水にあらず。…」)がある。和歌集としては、^{ごと ぼしやうこう}後鳥羽上皇の命令で藤原定家らが編集した^{しんこきんわかしゅう}新古今和歌集がある。

[問題]

鎌倉時代の代表的な文学作品として「平家物語」がある。次のア～エのうち、この作品を説明したものはどれか。1つ選んで、その記号を書け。

- ア 義理と人情の世界に生きる男女の悲劇を感動的に描いている。
- イ 地方の国ごとに、自然、産物、伝説などを記している。
- ウ 日本の国家のおこりを、神話や伝承・記録をもとにまとめている。
- エ 琵琶法師によって語られ、漢語や口語を交え、武士の活躍を描いている。

(香川県)

[解答欄]

[解答]エ

[問題]

次の ~ にあてはまる文学作品を答えよ。

後鳥羽上皇の命令で藤原定家らが編集した和歌集。

鴨長明が社会のむなしさを説いた随筆。

兼好法師が書いた随筆。

(補充問題)

[解答欄]

--	--	--

[解答] 新古今和歌集 方丈記 徒然草

[鎌倉仏教]

[問題]

鎌倉時代には、浄土宗などの仏教の新しい教えが、民衆や武士のあいだに広まったが、その理由として、最も関係のあるものを、次のア～エの中から1つ選べ。

- ア 天皇が、仏教の力にたよって国家を守ろうとした。
- イ 中国から帰国した最澄や空海が、仏教の新しい教えを日本に伝えた。
- ウ 南蛮貿易の利益に着目した大名が、その教えを保護したり、信者となったりした。
- エ 新しい教えは、簡単でわかりやすく、実行しやすいものだった。

(茨城県)

[解答欄]

[解答]工

[解説]

鎌倉時代にあらわれた仏教の各宗派は簡単でわかりやすく、実行しやすかったので、民衆の心をとらえ広がっていった。

第一は、平安時代の浄土信仰の流れをくむ念仏(南無阿弥陀仏)の系統である。法然は浄土宗を開き、きびしい修行を行わないでも、阿弥陀仏にすがり「南無阿弥陀仏」と唱えさえすれば極楽浄土に往生できると説いた。

法然の弟子の親鸞は浄土真宗を開き、「善ですら往生できず、まして悪人ならなおさらのことだ」という悪人正機説を唱えた。ここでいう

「悪人」とは「悩みの多い人」という意味である。慈悲深い阿弥陀仏は、こうした悩める人こそ救おうとしているのだと説いた。一遍は時宗を開き、布教の方法として右図のような踊念仏を取り入れ、全国を歩きまわって布教した。(かねをたたき足をふみならして「南無阿弥陀仏」を唱える様子がかがえる)

第二は、禅宗の系統である。栄西は宋にわたって禅宗を学び、臨済宗を開いた。座禅というきびしい修行を通して自分でさとりを開くことを重視したが、これは武士の気風によく合ったため、武士の間に広がり、幕府の保護を受けた。道元は、ただひたすら座禅に徹せよと説き、山中にこもって曹洞宗を開いた。

第三は、題目(南無妙法蓮華経)の系統である。日蓮は日蓮宗(法華宗)を開き、法華経こそ仏教の根本であると説き、他宗をきびしく批判した。

[鎌倉仏教]

簡単でわかりやすく、実行しやすかった

念仏(南無阿弥陀仏)の系統

浄土宗:法然 念仏

浄土真宗:親鸞 念仏,悪人正機説

時宗:一遍 踊念仏

禅宗の系統:座禅

臨済宗(栄西)

曹洞宗(道元)

日蓮宗 日蓮 題目(南無妙法蓮華経)



(踊念仏)

[問題]

鎌倉時代に、浄土宗や日蓮宗などの新しい仏教が多く武士や庶民に受け入れられた理由を、下の表を参考に書け。

真言宗	山奥の寺で学問やささまざまな厳しい修行を行う。儀式や祈りで災いを取り除く。
浄土宗	一心に念仏を唱えることで救われる。
日蓮宗	法華教を信仰する(題目を唱える)ことで、人も国家も救われる。

(山梨県)

[解答欄]

[解答]簡単でわかりやすく，実行しやすかったから。

[問題]

阿弥陀如来を信じて念仏をとえれば救われると説き，浄土宗を開いた僧は，次のうちのどれか。

[空海 道元 最澄 法然]

(神奈川県)

[解答欄]

[解答]法然

[問題]

「阿弥陀仏の救いを信じる心さえあればよく，自分の罪を自覚した悪人こそ救われる」と説いた宗派を何というか。

(鳥取県)

[解答欄]

[解答]浄土真宗

[問題]

右の写真は，踊り念仏で信仰を広めている様子をあらわしたものである。その宗派を，次から1つ選べ。

[日蓮宗 曹洞宗 浄土宗 時宗]

(鳥取県)

[解答欄]

[解答]時宗



[問題]

時宗を開き「踊念仏」を広めた僧はだれか。次から選べ。

[日蓮 一遍 空海 法然]

(神奈川県)

[解答欄]

[解答]一遍

[問題]

次の ~ の文のうち、栄西と日蓮について説明したものはそれぞれどれか。

念仏を唱え、阿弥陀仏にすがれば極楽浄土に往生できると説いた。

座禅によって自分の力で悟りを開く教えを伝えた。

法華教を重んじ、題目を唱えれば、国家も人も救われると説いた。

(千葉県)

[解答欄]

栄西：	日蓮：
-----	-----

[解答]栄西： 日蓮：

[問題]

道元が曹洞宗を学んだのは何という国か。次から選べ。

[唐 宋 元 明]

(福井県)

[解答欄]

[解答]宋

[問題]

右の写真は、石川県内のある寺において、この仏教で行われる修行を体験している様子を示したものである。この修行を特色とする仏教を何というか。



(石川県)

[解答欄]

[解答]禅宗

[問題]

永平寺町の永平寺にある国宝は、道元自らが1233年に著した『普勸坐禅儀』である。禅宗は、室町時代には京都や鎌倉の()と総称される重要寺院を中心に幕府の手厚い保護を受けた。

(福井県)

[解答欄]

[解答]五山

[問題]

法華経を信仰することで人も国家も救われると説き、新しい宗派を開いた人物は誰か答えよ。

(島根県)

[解答欄]

[解答]日蓮

【】農業や商工業の発達

[農業の発達]

[問題]

中世のわが国では、牛や馬を利用して田を耕すなど、さまざまな方法を用いた農業が行われたが、米の裏作として麦をつくることも行われた。このように、同じ耕地で年2回、別の作物をつくることを何というか。

(三重県)

[解答欄]

[解答]二毛作

[解説]

鎌倉時代、農業生産が向上した。これに関して、よく出題されるのは、二毛作の普及である。二毛作は表作として米を作り、裏作として麦を作るものであったが、土地がやせるのをふせぐために、草や木を焼いた灰が肥料として使われた。1つの土地を水田として利用し

た後、水を落として畑として使い、翌年ふたたび水を引き込んで水田にするためには、灌漑用水の整備や田畑の耕作など手間がかかるようになった。牛や馬の利用、鉄製の農具の普及による農作業の効率化によって、こうしたことが可能になったと考えられる。また、桑・漆・茶などの商品作物の栽培もはじまった。

[鎌倉時代の農業の発達]

二毛作(米と麦)

牛馬, 肥料(草木灰), 鉄製農具

[問題]

次の文の　，　に適語を入れよ。

鎌倉時代後半から室町時代にかけて、肥料が普及し、裏作に麦を作る(　)が広まるなど、農業技術が進歩し生産が高まった。また、桑・漆・茶などの(　)作物の栽培もはじまった。

(滋賀県)

[解答欄]

<input type="text"/>	<input type="text"/>
----------------------	----------------------

[解答] 二毛作 商品

[問題]

鎌倉時代から室町時代までの、わが国の農業のようすについて述べた文として、最も適切なものを、次のア～エから選び、記号で答えよ。

ア 収穫した稲を高床倉庫(高床の倉庫)に貯蔵するようになった。

イ 干鰯などの肥料を使った綿の栽培が各地に広まった。

ウ 米の裏作に麦をつくる二毛作が各地に広まった。

エ 千歯こきを使って稲を脱穀するようになった。

(山口県)

[解答欄]

[解答]ウ

[問題]

農業生産を高めるために、鎌倉～室町時代にはどのような工夫が行われたか、1つ述べよ。

(宮城県)

[解答欄]

[解答]米の裏作として麦をつくる二毛作を行った。(鉄製のすきを牛馬にひかせて田を耕した。草や木の灰を肥料として使った。)

[商工業の発達]

[問題]

右は一遍上人絵伝という絵巻物の一部で、当時の(X)のようすが描かれている。このころには、交通の要所で(X)が開かれ、さまざまな品物が取引されていた。

(岡山県)



[解答欄]

[解答]定期市

[解説]

農業生産の向上は、農業以外にたずさわる人々を生み出す
余裕を社会に与え、農村には、農具を作る鍛冶屋や染物を

あつかう紺屋などの手工業者が住みついた。

寺社の門前や交通の便利なところでは、定期市が開かれ、
これらの物資が売買されるようになった。

寺社の門前や交通の便利
なところで、定期市



[問題]

鎌倉時代の市では、中国から輸入された貨幣が使われていた。この貨幣を製造していた中国の王朝を、次のから1つ選べ。

[宋 隋 清 漢]

(山口県)

[解答欄]

[解答]宋

【】元寇・鎌倉幕府の滅亡

【】元寇

[モンゴル帝国・元]

[問題]

中国の北方で遊牧生活を送っていたモンゴル民族のなかから出た(フビライ・ハン/チンギス・ハン)が、はじめて民族を統一し、国を建てた。文中の()内より適語を選べ。

(愛知県)

[解答欄]

[解答]チンギス・ハン

[解説]

13世紀の初め、チンギス・ハンは、モンゴルの部族を統一して国を建設した。その子や孫は、その国を広大なユーラシア大陸の東西にまたがるモンゴル帝国に成長させた。

5代目のフビライ・ハンは、モンゴル帝国のうち、中国・モンゴルなどの地域を本国として、1271年に首都を大都(現在の北京)におき、国号を元と定めた。

さらに、1279年には宋(南宋)をほろぼし中国全土を支配下に置いた。イタリアの商人マルコ・ポーロはフビライに17年間仕え、帰国後、その体験をもとに「東方見聞録」を著した。その中で日本のことを「黄金の国ジパング」として紹介した。

[モンゴル帝国・元]

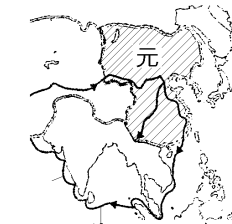
13世紀初 チンギス・ハン

子や孫：モンゴル帝国



1271年 フビライ・ハン、元(大都)

マルコ・ポーロ：「東方見聞録」



マルコ・ポーロの行路

[問題]

フビライ・ハンがモンゴル帝国の都を大都(北京)に移し、新たに定めた国の名前(国号)を漢字で書け。

(山梨県)

[解答欄]

[解答]元

[問題]

国号を元と定めて中国全土を支配した人物はだれか。

(和歌山県)

[解答欄]

[解答]フビライ・ハン

[問題]

次の文の ， の()内より適語を選べ。

元軍は、中国で発明された (火薬 / 蒸気機関) を、実戦に取り入れ日本への遠征でも使用した。() は、西方にも伝えられた。一方、イスラムの数学や天文学が中国にもたらされた。また、 (マルコ・ポーロ / バスコ・ダ・ガマ) のように中国を訪れるヨーロッパ人もあらわれた。

(千葉県)

[解答欄]

<input type="text"/>	<input type="text"/>
----------------------	----------------------

[解答] 火薬 マルコ・ポーロ

[元寇]

[問題]

13世紀中、2度にわたって大軍を率いて北九州に押し寄せてきた中国の王朝を何というか。次から選べ。

[明 唐 宋 元]

(広島県)

[解答欄]

[解答]元

[解説]

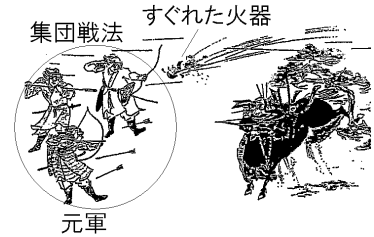
元のフビライ・ハンは高麗^{こうらい}を征服^{せいふく}した後、日本も従うようにと使者を送ってきた。幕府の執権北条^{しっけん}時宗^{ぼしじょう}は使者を斬^きって、これを拒絶^{きよぜつ}した。

1274年、元軍3万が九州の博多湾^{はかた}に上陸^{しゅうだん}し、集団^{しゅうだん}戦法^{せんぽう}とすぐれた火器^{かき}によって日本軍をなやました

[元寇]
フビライ・ハン、北条時宗
1274年 文永の役 [集団戦法]・[火器]
↓
1281年 弘安の役 石塁

すえ、^{ないぶん} 内紛や^{ぼうふうう} 暴風雨のために引き上げた(文永の役)。

さらに、1281年 約14万の大軍で、^{ふんえい} 博多湾^{えき} 沿いに築いた^{せきり} 石塁を利用して戦った。元の大軍は上陸できないまま、^{ぼうふうう} 暴風雨に襲われて大損害を受けて退却した(弘安の役)。(一風灰に(1281)に弘安の役) この2度の元の襲来をあわせて^{げんこう} 元寇という。



[問題]

元の皇帝フビライが命じた日本への1度目の襲来を何の役というか。

(福井県)

[解答欄]

[解答]文永の役

[問題]

元軍の襲来があったときに執権であった人物はだれか。次の[]から選べ。

[北条時政 北条政子 北条泰時 北条時宗]

(香川県)

[解答欄]

[解答]北条時宗

[問題]

(新潟/兵庫/平戸/博多)は、13世紀後半の元寇の際に元軍が押し寄せた地である。また、それ以前は太宰府の玄関口であり、遣唐使の出港地でもあった。文中の()内より適語を選べ。

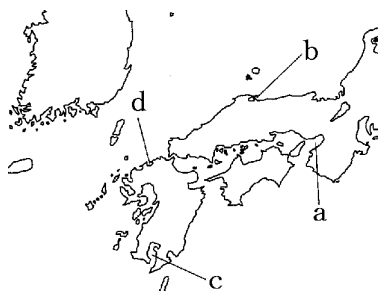
(栃木県)

[解答欄]

[解答]博多

[問題]

国号を元とし、のちに宋をほろぼしたことで知られる皇帝()は、日本に使者を送り服属を求めたが、幕府の執権北条時宗にこばまれたため、元軍を博多湾沿岸に上陸させた。



- (1) ()にあてはまる人の名前を書け。
- (2) 博多湾の位置を略地図の a~d から選べ。

(北海道)

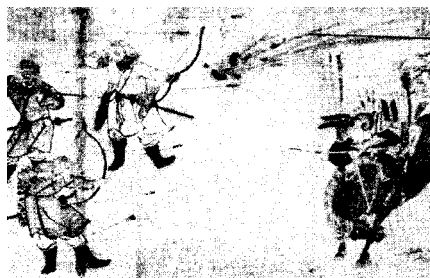
[解答欄]

(1)	(2)
-----	-----

[解答](1) フビライ・ハン (2) d

[問題]

右の資料は鎌倉時代にモンゴルが日本をおそったできごとを描いたものである。これを見て、次の各問いに答えよ。



- (1) このできごとは何とよばれるか、答えよ。
- (2) 資料をみて、この時のモンゴルと日本の戦い方で適切なものはどれか。次のア~エから 1 つ選び、記号で答えよ。

- ア モンゴルの兵士は集団戦法をとった。
- イ モンゴルの兵士は馬に乗って戦った。
- ウ 日本の武士は刀を用いて攻撃した。
- エ 日本の武士はすぐれた火器を使った。

- (3) 日本をおそったころ、モンゴルを支配していたのはだれか、適切な人物を次から 1 つ選べ。

[チンギス・ハン フビライ・ハン ナポレオン 始皇帝]

(沖縄県)

[解答欄]

(1)	(2)	(3)
-----	-----	-----

[解答](1) 元寇 (2) ア (3) フビライ・ハン

[問題]

モンゴル帝国や日本について、誤っているものを次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

ア モンゴル民族から出たチンギス・ハンは、民族を統一して国家を建設した。

イ 5代目のフビライ・ハンは、都を大都に移し、国号を元と定めて皇帝となった。

ウ 元の軍は、集団戦法とすぐれた火器により、日本軍をなやましたすえ、引きあげた。

エ 元の襲来を防いだ武士たちは結束して、やがて鎌倉幕府を成立させた。

(宮崎県)

[解答欄]

[解答]エ

[問題]

右の絵は元軍の最初の来襲における戦いのようすを描いたものである。この戦いで日本軍が苦戦をした理由を、この絵を参考にし、元軍の戦法と、日本の武士がそれまで見たことのない元軍の武器に着目して、簡単に書け。



(愛媛県)

[解答欄]

[解答]元軍が集団戦法とすぐれた火器を使ったから。

[御家人の不満]

[問題]

元との戦いに参加した御家人は、鎌倉幕府に対して不満をもつようになった。その理由を、将軍と御家人の主従関係のしくみに関連づけて、簡単に書け。

(静岡県)

[解答欄]

[解答]奉公として元軍との戦いに参加したのに、恩賞の土地がもらえなかったため。

[解説]

国内の戦いに勝ったのであれば、倒した敵の土地を、
がらに^{おんしょう}応じて恩賞として分け与えることになる。しか
し、^{げんこう}元寇の場合は、戦いに勝っても土地が増えたわけ
はなかったので、幕府は御家人に^{ごけにん}恩賞として土地を与え

[御家人の不满]

幕府が恩賞として土地を
与えることができなかったから

ることができなかった。当時は出陣のために要する費用はすべて自分持ちであったから、
恩賞はそれを補うという意味もあったのである。恩賞を出さない(出せない)というのは、
^{ごおん}御恩と^{ほうこう}奉公という関係から見れば、重大な契約違反といってもよいことなのである。御
家人が幕府に対して不満をいただくようになったのは当然のことである。

[問題]

御家人の多くは、元との戦いで活躍したにもかかわらず、十分な恩賞がもらえなかつた。その理由を簡潔に述べよ。

(宮城県)

[解答欄]

[解答]国内の戦と違い、幕府は恩賞として与えるための新たな土地を獲得したわけではなかったから。

[問題]

元寇とその後の社会について説明した文として正しいものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

ア 一度目の元寇を文禄の役といい、二度目の元寇を慶長の役という。

イ 幕府は元軍の襲来に備えて、博多湾に防塁(石塁)を築いたり、九州警備のため防人を配置したりするなど、防衛力強化に取り組んだ。

ウ 元軍は集団戦法と火器を使った攻撃で、幕府軍を苦しめた。

エ 元軍の攻撃を退けたことで幕府と御家人の結束が強まり、幕府は多くの恩賞をもって御家人の功績に報いた。

(鳥取県)

[解答欄]

[解答]ウ

【】鎌倉幕府の滅亡

[永仁の徳政令]

[問題]

元寇での戦いなどでますます苦しくなっていた御家人の生活を救うために、幕府が出した法令として最も適当なものはどれか。

[大宝律令 御成敗式目 徳政令 外国船打払令]

(鹿児島県)

[解答欄]

[解答]徳政令

[解説]

鎌倉時代の中ごろから、鎌倉幕府を支える御家人の生活は苦しくなっていた。その原因は、分割相続である。当時は兄弟で親の財産(土地)を分けて相続する分割相続が行われていた。承久の乱など国内の戦いで恩賞として領地を増やすことができる間はよかったが、戦いが

なくなって領地の増加がなくなると、何代か分割相続をくりかえしていくうちに領地が細分化されてしまい、収入が減少し生活が苦しくなっていた。御家人のなかには、高利貸しからの借金が返せず土地を失う者が出てきた。幕府を支える御家人の窮乏を救うため、幕府は1297年に永仁の徳政令を出して、御家人の領地の質入れや売却を禁止し、それまでに売ったり質流れになったりした土地をもとの持ち主である御家人にただで返させることとした。しかし、これによっても御家人の窮乏を救うことはできず、かえって、それまで金を融通していた高利貸しが金を貸さなくなるなど逆効果になり、幕府の信用を失わせる結果になった。(皮肉な(1297)結果に徳政令)

[永仁の徳政令]

御家人の窮乏 ← 分割相続

↓

1297年 [永仁の徳政令]

[問題]

鎌倉幕府が出した徳政令の目的を書け。

(熊本県)

[解答欄]

[解答]苦しくなった御家人を助けるため。

[問題]

元寇後の鎌倉時代の社会を述べたものはどれか。次のア～エから1つ選んで、その記号を書け。

- ア 源義家が、東北地方の大きな戦乱をしずめ、東国に勢力をのばした。
- イ 都市では、米の買いしめをした商人に対する打ちこわしがおこった。
- ウ 幕府は永仁の徳政令を出すなど、生活に苦しむ御家人を救おうとした。
- エ 全国の土地が、石高という統一的な基準であらわされるようになった。

(香川県)

[解答欄]

[解答]ウ

[解説]

アは平安時代，イは江戸時代，エは桃山時代

[問題]

永仁の徳政令を出したことによって生じた社会のようすとして正しいものを、次のア～エから1つ選び、その記号を書け。

- ア 地租改正の後、農民間の貧富の差が大きくなり、小作人が増えていった。
- イ 商工業者は株仲間を結ぶことが認められ、営業を独占した。
- ウ 政治に不満をもつ御家人が増え、幕府は信用を失っていった。
- エ 札差からの借金が帳消しになり、旗本や御家人は生活難から救われた。

(奈良県)

[解答欄]

[解答]ウ

[解説]

アは明治時代，イとエは江戸時代。

[鎌倉幕府の滅亡]

[問題]

鎌倉幕府への反感が強まる中、政治の実権を朝廷に取りもどすために兵を挙げ、鎌倉幕府をほろぼした天皇は誰か。

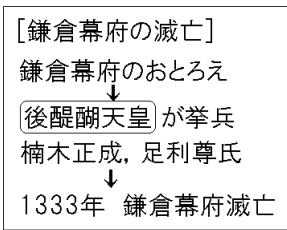
(補充問題)

[解答欄]

[解答]後醍醐天皇

[解説]

1333年に鎌倉幕府は滅亡した。滅亡の原因の第一は、御家人の窮乏と不満である。領地の分割相続によって御家人は次第に窮乏していった。また、元寇のとき恩賞がほとんどもらえなかったことで幕府への不満が広がった(御恩と奉公における重大な契約違反)。幕府は永仁の徳政令を出したが、



その効果はうすく、かえって御家人の不満と不信をまねく結果に終わった。このような動揺をおさえるため北条氏は専制政治を強化したが、それはますます御家人の不満をつのらせる結果になった。

滅亡の原因の第二は、鎌倉中期以降の経済発展によって社会が大きく変動し、それにともなって、新しい武士階層が出てきたことである。農村経済の発達とそれにともなう商業の発達によって経済力をたくわえた御家人ではないあらたな武士が成長していった。彼らの中には、荘園の年貢を奪うなど、幕府の秩序を乱す者もあり、悪党とよばれた。悪党はやがて各地に広がっていき、百姓の抵抗運動とともに、荘園領主や幕府を悩ますようになっていった。

幕府のおとろえをみた後醍醐天皇は、幕府をたおして天皇中心の政治を取りもどそうと考へ、楠木正成など、悪党とよばれた武士たちによびかけて兵をあげた。これに対して幕府は、大軍を京都にのぼらせた。しかし、有力な御家人の足利尊氏は、幕府にそむいて、1333年、京都の六波羅探題を攻め落とし、新田義貞も鎌倉に攻め込んで、鎌倉幕府をほろぼした。(一味さんざん(1333)鎌倉滅ぶ)

[問題]

次の文の ， の()内より適語を選べ。

御家人たちの生活は苦しくなり、領地を手放す者も多くなった。幕府は、(分国法 / 徳政令)を出して御家人を救おうとしたが、失敗に終わった。また、武士の中には、荘園におし入ったり、年貢をうばったりする(倭寇 / 悪党)とよばれる集団があらわれたが、幕府はその集団の取りしまりを十分に行うことができず、しだいに幕府の力はおとろえていった。

(新潟県)

[解答欄]

--	--

[解答] 徳政令 悪党

[印刷 / 他の PDF ファイルについて]

このファイルは、FdData 入試社会(16,200 円)の一部を PDF 形式に変換したサンプルで、印刷はできないようになっています。製品版の FdData 入試社会は Word の文書ファイルで、印刷・編集を自由に行うことができます。

FdData 入試社会・入試理科全分野の PDF ファイル, FdData 中間期末(社会・理科・数学)全分野の PDF ファイル, および製品版の購入方法は<http://www.fdttext.com/dan/> に掲載しております。

下図のような, [FdData 無料閲覧ソフト(RunFdData2)]を, Windows のデスクトップ上にインストールすれば, FdData 中間期末・FdData 入試の全 PDF ファイル(各教科約 1800 ページ以上)を自由に閲覧できます。次のリンクを左クリックするとインストールが開始されます。

RunFdData 【 <http://fddata.deci.jp/lnk/instRunFdDataWDs.exe> 】

ダイアログが表示されたら, 【実行】ボタンを左クリックしてください。インストール中, いくつかの警告が出ますが, [実行][許可する][次へ]等を選択します。

【イメージ画像】



【Fd 教材開発 : URL <http://www.fdttext.com/dat/> Tel (092) 404-2266】